

2016年4月25日

株式会社インプレスR&D

<http://nextpublishing.jp/>

高須正和+ニコニコ技術部深圳観察会による渾身の深圳現場レポート
『メイカーズのエコシステム 新しいモノづくりがとまらない。』
全国の一般書店でも販売開始！

インプレスグループで電子出版事業を手がける株式会社インプレス R&D（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：井芹昌信）は、『メイカーズのエコシステム 新しいモノづくりがとまらない。』（著者：高須正和+ニコニコ技術部深圳観察会）を4月22日より全国の書店で販売開始いたしました。

インプレス R&D は、2012年より自社開発した NextPublishing メソッドを使用して、電子書籍とプリント・オンデマンド（POD）によるハイブリッド出版を展開しています。

PODによる印刷書籍の販売は、アマゾンをはじめとするオンラインストアを中心に展開していますが、一般書店（リアル書店）からも注文のご連絡を多数いただいております。

本年1月より、さらに多くの方に読んでいただけるよう、NextPublishing メソッドで作られたタイトルの中で販売実績の良い書籍やベストセラーを、取次社を経由して全国の書店に委託流通しています。

『メイカーズのエコシステム 新しいモノづくりがとまらない。』は、今話題のメイカームーブメントについて、高須正和とニコニコ技術部深圳観察会が第二のシリコンバレーと言われる深圳に足を運び、その実態を具体的に解説した渾身のレポートです。

『メイカーズのエコシステム 新しいモノづくりがとまらない。』



著者：高須正和+ニコニコ技術部深圳観察会

本体価格:2,100 円
ISBN:978-4-8443-9723-6
発行:インプレス R&D

<<発行主旨>>

ソフトウェアの起業家が、世界中からシリコンバレーに集まり、学生(ワナビー)→起業家→エンジニア(社員)→投資家 というエコシステムが西海岸にできている。その流れはメイカームーブメントとしてハードウェアにも及んでいる。ところが、起業家が実際何をしていて、投資家がどういう基準でどういう投資をし、誰がどうやって儲けているかは、あまり話されることがないため、ニコニコ技術部深圳観察会は第二のシリコンバレーと言われる深圳に足を運んで具体的にそれらを説明する。

<<内容紹介>>

iPhone が製造されている中国の工業地帯、深圳。そして偽物の iPhone が「発明」されているのも、深圳。「製造業のハリウッド」と呼ばれるかの地では、秋葉原の30倍の電気街をもち、100倍のベンチャー企業が最先端の電子ガジェットを作り、世界中にクラウドファウンディングで販売しています。そんな「IoT(モノのインターネット)」の中心を、高須正和・井内育生・きゅんくん・江渡浩一郎らが渾身のレポート。日本と深圳で自らベンチャーを行う小笠原治・藤岡淳一も寄稿。解説:山形浩生。

<<目次>>

- 第一章 メイカームーブメントってなんなのか
- 第二章 メイカーズで世界はどう変わるのか インディーデザイン(同人ハードウェア)の誕生
- 第三章 同人ハードウェアからメーカー企業へのハードな道
 - 同人ハードウェアからメーカー企業へ加速させるHAX
 - Hardware is hard(ハードウェアは物理的で大変)
 - 深圳の可能性とハードウェアを量産する現実(藤岡淳)
- 第四章 政府とメイカームーブメント
 - 深圳政府とメイカームーブメント
 - 世界でいちばん小さい国のメイカームーブメント シンガポール
- 第五章 日本からコミットする 日本のメーカーの生態系
 - 日本の大企業に作った、深圳みたいなスペース(井内育生)
 - 深圳ツアー体験記(江渡浩一郎)
 - ロボティクスファッションクリエイター、アキバ発・深圳行き(きゅんくん)
 - AKIBA からのハードウェア・スタートアップ(小笠原治)
- 解説 深圳をめぐる個人史・都市発展とイノベーション(山形浩生)

<<著者紹介>>

高須正和

チームラボ Make 部発起人。ニコニコ学会 β、メイカーフェア深圳・シンガポールなどで実行委員。日本のメイカーが海外のメイカーフェアに共同出展する「ニコ技輸出プロジェクト」、海外のメイカーの国内向け紹介、ギーク向けダンスパーティーAkiparty(マルチネレコード主宰 tomad と共同)など、海外と日本のメイカームーブメントをつなげることに関心がある。

■ニコニコ技術部深圳観察会

ニコニコ動画上でテクノロジーを楽しむ「ニコニコ技術部」から生まれたプロジェクト。現地集合・現地解散、参加者は各自の感想をネット上でシェアすることをルールに、これまで3回行われている。

井内 育生

(株)リコー 新規事業開発本部 新規事業 PF 開発センター 開発準備室所属 つくる〜む新横担当。2015年2月からアイデア発想&ファブスペース「つくる〜む新横」を運営。社内での活用を促進する傍ら、社外との協創にも取り組み、新規事業の芽を見つけ育てる活動を続けている。

江渡 浩一郎

産業技術総合研究所主任研究員、メディアアーティスト、ニコニコ学会β実行委員長。在学中よりメディアアーティストとしてアート作品を発表する。2010年、東京大学大学院情報理工学系研究科博士課程修了。2011年、ユーザー参加型研究の世界を作るためにニコニコ学会β実行委員会を発足する。

小笠原 治

株式会社 nomad 代表取締役。株式会社 ABBA Lab 代表取締役。さくらインターネットフェロー、DMM.make エヴェンジェリストなど様々な分野でエコシステムの生まれる場作りを行う。

きゅんくん

1994年東京都出身。ロボティクスファッションクリエイター。メカエンジニア。機械工学を学びながらファッションとして着用するロボットを制作している。機械設計、金属加工、電子工作、洋裁を自身で行う。2015年オーストリア「Ars Electronica Gala」招待出演。

藤岡 淳一

ジェネシスホールディングス代表取締役社長。2011年に香港で創業、後に日本法人を創業。現在は同中国法人の深圳工場にて ICT 企業・ベンチャー企業向けの IoT デバイスの製造受託に日々腕を振るう。

山形 浩生

評論家、翻訳家。野村総合研究所研究員。オープンソース、コピーレフトの活動に参加しており、ローレンス・レッシングの翻訳、オープンソースや Linux に関する著書、訳書も多数手がけている。また、自身の翻訳や著作の多くも、フリーで公開している。著書に『新教養主義宣言』『要するに』(ともに河出文庫)、『訳者解説』(バジリコ)ほか。

【株式会社インプレス R&D】 <http://nextpublishing.jp/>

インプレスR&Dは、デジタルファーストの次世代型電子出版事業モデル「NextPublishing」を推進する企業です。

【インプレスグループ】 <http://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス(本社:東京都千代田区、代表取締役:関本彰大、証券コード:東証1部 9479)を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「モバイルサービス」を主要テーマに専門性の高いコンテンツ+サービスを提供するメディア事業を展開しています。

【製品についてのお問い合わせ先】

株式会社インプレス R&D NextPublishing センター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-105

TEL 03-6837-4820

電子メール: np-info@impress.co.jp